

フィールド体験セミナー 植物園で考えるビジネスと生物多様性

このたび、東京都心で日帰りにてご参加いただける企業向けセミナーを下記のとおり開催致しましたのでご報告致します。

日時：10月13日(木) 午前9時45分から午後3時30分まで。

場所：東京大学大学院理学系研究科附属植物園・本園（通称 小石川植物園）

（所在地：東京都文京区3-7-1 地下鉄丸の内線茗荷谷駅から徒歩約10分）

当日は、5社の企業から参加された方々と総勢15名で、午前中のフィールド体験と午後の講義を行いました。

午前中は、夏の間屋外に設置された植物の鉢を温室に移動する作業をしました。植物園のスタッフの指導のもと、大小さまざまな鉢を一人で、あるいは数人で協力しながら世界中から集められた熱帯・亜熱帯性植物を温室に入れるという貴重な体験をしました。



その後は、小石川植物園の園内をご案内いただき、薬草園などの見学や、園内のハウスで実るスターフルーツを頂いたりもしました。

午後からは、東京大学大学院理学系研究科附属植物園の邑田仁先生から、「植物園における生物多様性保全活動について」、株式会社レスポンスアビリティ代表取締役で理学博士でもある足立直樹先生から、「今なぜビジネスが生物多様性を保全するのか」の講義をいただきました。



会場からは、「今夏、節電のため緑のカーテンが流行ったが、ゴーヤなどの外来種を増やすことで生態系が崩れたりしないか？」という質問や、「愛知目標で掲げられた持続可能な生産や消費の計画立案にはどう取り組めばいいか」など、熱心な質疑応答がかわされました。

後日いただいたアンケートでは、「足立先生の講義は、今まで漠然としか知らなかった事を分かりやすく説明して頂き、また、今後の取り組みについて考えるキッカケをつくってもらい良かった」「単発ではなく、継続して社員が参加できるセミナーを実施してほしい」などのご意見をいただきました。



今後、いただいたご意見をもとに更に良いプログラムを作ってまいります。

今回はご参加できなかった皆さまも、次回、ぜひお越しください。